

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」の取組事例

金ヶ崎町子育て支援課「放課後子ども教室・キッズくらぶ」の成果と課題（岩手県金ヶ崎町）

取組事業

金ヶ崎町放課後子ども教室事業

活動実施場所

中央生涯教育センター、西小学校、第一小学校、永岡小学校、三ヶ尻小学校等

取組概要

【学び支援事業】

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」の委託を受けて、心豊かでたくましい子どもを町全体で育むことを目的に、安全・安心な居場所（活動拠点）の提供とイベントを開催しています。

◎定期開催（町内5つの小学校児童1学年から6学年を対象）

5月から10月まで毎週木曜日（祝日を除く）に、中央生涯教育センター他4つの小学校で実施。コーディネーターや安全管理員がスタッフとなり、午後3時から5時の2時間（開催場所により午後3時から4時30分の1時間30分）、ニュースポーツ（ドッチビー等）による運動、工作活動、自主活動（ゲーム、自習等のフリータイム）の機会提供を行いました。

◎イベント開催（町内5つの小学校児童1学年から6学年を対象（一部イベントに限り中学生が自主企画を実施））

5月28日（土）中央生涯教育センターで自然体験教室「星空観察会」、6月25日（土）中央生涯教育センターで季節行事「七夕」を実施。また、小学校の夏休み期間中、7月29日（金）泰養寺で社会体験教室「座禅体験ときもだめし」、8月2日（火）から3日（水）中央生涯教育センターで「夏休み！勉強会」、8月8日（月）県南青少年の家で自然体験教室「川遊び」、8月13日（土）中央生涯教育センターで中学生自主企画「お化け屋敷」を開催しました。



自主活動の様子



「川遊び」の様子

事業成果

【学び支援事業】

地元の人材を活用した学びの場を継続して提供してきたことで、児童・生徒や保護者等の認知度が高まってきたことや、学童保育所との連携により、年々参加者が増加して来ている。参加する児童の学習に取り組む姿勢も学年が上がるごとに良くなってきており、年長者が年少者の面倒をみる等、放課後子ども教室を通じて心身ともに成長が観察される。

また、中学生有志が夏休みを利用し、2年連続お化け屋敷運営を実施した。地域活動に携わろうとする青少年の数が増えて来ている。

*単位：人、（）内は運営スタッフ（コーディネーター、安全管理員）数

学び支援事業参加者数	平成28年実績	平成27年実績	平成26年実績
5月参加者	105 (15)	18 (6)	24 (-)
6月参加者	404 (52)	230 (35)	202 (29)
7月参加者	264 (31)	195 (42)	190 (39)
8月参加者	190 (13)	134 (7)	60 (12)
9月参加者	314 (30)	196 (26)	153 (26)
10月参加者	290 (24)	225 (23)	159 (22)
合計	1567 (165)	998 (139)	778 (128)

課題や今後の取組

（課題）

・学童保育所と連携を強化したことで参加者が増加しており、運営スタッフが不足している。新たな人材の発掘・育成に取り組む必要がある。

・より良い学び支援環境を整備するため、運営スタッフを対象とした研修体制を構築し、児童教育の専門家の育成を図る。

・中学生、高校生を対象とした学生ボランティアスタッフを募り、指導する側、指導を受ける側双方の学び機会の提供を図る。